

日本イスパニヤ学会2022年度第3回理事会議事録

日時：2022年10月1日（土）11:00～12:15

場所：立命館大学衣笠キャンパス 学而館3階GJ313教室

出席者：安保寛尚、糸魚川美樹、松本健二、中井博康、仲井邦佳、成田瑞穂、野村竜仁、
大森洋子、高松英樹、竹村文彦、立岩礼子、土屋亮、上野勝広、山村ひろみ（ABC
順）

欠席者：江澤照美、西村君代、大楠栄三、安富雄平（ABC順）

議題：

〈審議事項〉

(1) 前回理事会議事録の承認

・2022年度第2回理事会（7月24日開催）の議事録案が承認された。

(2) 本年度第68回大会開催について

・大会実行委員長仲井理事より、開催形式最終決定までの経緯、発表者の辞退・病欠によるプログラムと発表形式変更、さらに会場での感染症対策について説明があり、最終確認が行われた。

(3) 総会議題の承認

・2022年度大会総会の報告・審議事項を以下のとおり進行する旨が確認された。

報告事項

- ① 物故会員・元会員
 - ② 新入会員の紹介(2021.10～2022.8)
 - ③ 第17回学会奨励賞
 - ④ 学会会報第29号発行
 - ⑤ 機関誌HISPÁNICA 第66号発行
 - ⑥ 2023年度第69回大会開催校
 - ⑦ その他
- ・「発表証明書」の発行について

審議事項

- ① 会則改正について
- ② 2021年度会計報告
- ③ 2021年度監査報告
- ④ 2023年度予算案
- ⑤ その他

(4) 次回理事会の開催日程

・2023年4月2日（日）13:00～ Zoom利用によるオンライン会議で開催する。

(5) その他

・会長より「発表証明書」について雛形の提示があり、今回大会より発表者全員へ発行することが認められた。過去の発表の証明書発行依頼については個々の事例ごとに対応する。

〈報告事項〉

- (1) 会員異動
 - ・庶務委員成田理事より、2022年7月から2022年8月までに新入会員は1名、退会者は5名であったことが報告された。2022年9月1日現在の会員数は343名+19機関である。
- (2) 機関誌HISPÁNICAについて
 - ・編集委員長野村理事より、第66号の発行作業が例年どおり進捗しているとの報告があった。また、機関誌への投稿方法および査読者への論文送付方法について、電子化に向けて継続して検討中であること、さらに学会奨励賞の選考方法についても編集委員会で検討を行っており、次回の理事会に素案を提示し審議を依頼する予定であるとの報告があった。
- (3) 学会会報について
 - ・広報委員長仲井理事より、会報第29号が発行され、大会受付で配布すること、大会欠席者への郵送手配および学会HPへの掲載が完了したとの報告があった。
- (4) 講演者謝礼について
 - ・山村会長より、今年度大会の講演者 野谷文昭名誉会員に謝礼（3万円）を学会より支出することが報告された。また、会計委員高松理事より、2014年度以降の大会講演者への謝礼支出実態について資料とともに報告があり、今後、問題点を整理したうえで大会講演者の謝礼金に関する内規の策定をすることになった。
- (5) 2021年度会計報告
 - ・会計委員高松理事より2021年度の会計報告があった。2021年度の学会奨励賞副賞は次年度に計上される。
- (6) 2021年度監査報告
 - ・上野監査より2021年度会計報告について、関係書類を監査したところ異常なきものと認める旨報告があった。
- (7) 2023年度予算案
 - ・会計委員高松理事より2023年度予算案が示された。大会は対面開催、理事会はオンライン開催を前提としていること、また、理事・監査改選費用が計上されている旨説明があった。
 - ・上野監査より、2023年度予算案の通信・交通費の計上額について質問があり、理事会のオンライン開催を主とする経費削減について説明があった。
- (8) その他
 - ・会計委員高松理事より、2021年度学会奨励賞副賞が未送付だった点について、経緯と対応の説明および再発防止策の提案があった。
 - ・山村会長より、次回理事会では以下の項目が審議事項となるとの説明があった。
 - ・大会発表採否通知方法について
 - ・学会奨励賞の応募・選考方法について
 - ・機関誌投稿方法・査読者への論文送付方法について